

LM・ブラジル国債ファンド (年2回決算型)

運用報告書

第3期 決算日 2010年3月15日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	平成20年10月31日～平成30年9月13日まで	
運用方針	当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・レアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	年2回の決算日（原則として毎年3月13日及び9月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：
レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－受益者のみなさまへ－

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「LM・ブラジル国債ファンド（年2回決算型）」は、2010年3月15日に第3期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

LM・ブラジル国債ファンド（年2回決算型） 市場総括および運用概況

I. 設定来（2008年10月31日～2010年3月15日）の運用実績

基準価額の推移



上記の基準価額は、信託報酬控除後のものです。また、分配金込みの基準価額は、課税前分配金を再投資（複利運用）したと仮定して、委託会社が算出したものです。

パフォーマンス（分配金込みベース、2010年3月15日現在）

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
6.61%	2.12%	5.68%	25.44%	—	19.96%

設定日は、2008年10月31日

市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。

上記の図および表は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。

（出所）レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

II. 当期（2009年9月15日～2010年3月15日）の運用経過

- 当期末（2010年3月15日）のLM・ブラジル国債ファンド（年2回決算型）（以下、当ファンド）の基準価額は11,963円（分配金控除後）となりました。
- 分配金につきましては、ファンドの性格、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。

分配金 (1万口当たり、税込み)	第1期（2009年3月13日）	10円
	第2期（2009年9月14日）	10円
	第3期（2010年3月15日）	10円
設定来の分配金累計額		30円

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

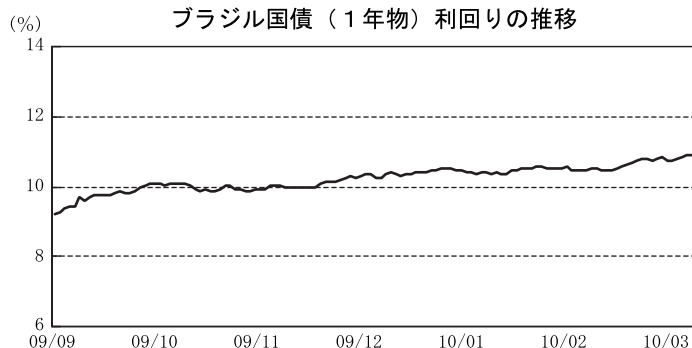
- 当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス5.68%（分配金込みベース）、基準価額は644円上昇（分配金調整後）しました。
- 基準価額の上昇要因は、公社債からの利金収入及び、ブラジルリアル上昇による為替益となりました。
- 当ファンドは、主に「LM・ブラジル国債マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。
- 期末時点で、当ファンドは短期のブラジル国債を中心に投資を行い、ポートフォリオのデュレーション*を0.97年としました。また、組み入れ債券の内訳は固定利付債券54%、割引債券46%としました。

*デュレーション：金利の変化に対する債券価格の感応度を表す指標。この値が大きいくほど、金利の変化に対する債券価格の変動が大きくなります。デュレーションが5年とは、債券利回りが1%動いた際に、債券価格が5%程度動くことを意味します。

こうした運用状況の背景となる市場環境につきまして、以下にご説明させていただきます。

Ⅲ. 市場動向

① 債券市場



(出所) ブルームバーグ

- 当期は、米国債券市場において、利回りが上昇（価格は下落）しました。期の前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策に対する見方が交錯する中、債券市場は方向感の定まらない展開となりました。期の半ばは、失業率の予想以上の上昇などを受け、利回りは一時低下しましたが、米景気の回復期待を背景に株価が上昇傾向を辿ると、上昇しました。期の後半は、中国の預金準備率の引き上げや米金融規制案の発表を受けて景気の不透明感が強まったことや、一部の欧州諸国における財政悪化問題が懸念されたことなどから、安全資産である国債に資金が向かい、利回りが低下する局面が見られました。期末にかけては、米景気回復期待等から、利回りは下げ渋りました。
- こうした環境下、ブラジル債券市場では、利回りが上昇（債券価格は下落）しました。2009年10－12月期 GDP成長率が前期比プラス2.0%と、3四半期連続でプラス成長となるなど、経済指標がブラジル景気の順調な拡大を示したことから、利回りは期を通じて上昇傾向を辿る展開となりました。
- 金融政策については、ブラジル中央銀行は期を通じて金融政策の変更を見送り、政策金利を8.75%に据え置きました。

② 為替市場



(出所) 社団法人 投資信託協会

■当期の為替市場では、ブラジルレアル・円相場は上昇しました。期の前半は、ブラジル経済が3四半期ぶりにプラス成長となったことなどを受け、レアルは対円で上昇して始まりました。しかし、ブラジル政府がレアルの過剰な上昇抑制を目的に金融取引税の導入を決定すると、下落しました。期の半ばは、アラブ首長国連邦(UAE)のドバイ政府系企業の資金繰り不安が表面化し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、レアル売りが強まりました。売り一巡後は、ブラジルの堅調な景気を背景に、レアルは上昇に転じました。期の後半は、中国での金融引き締め観測や一部欧州諸国での財政悪化懸念が浮上したことから、再びリスク回避姿勢が強まり、レアルは対円で大幅に下落しました。しかし、期末にかけてはブラジル中央銀行による早期利上げ観測が高まったことから、レアルは反発し、期初の水準を上回りました。

IV. 今後の見通しと運用方針

- ブラジル経済については、2009年10-12月期国内総生産(GDP)が前期比2.0%増と、3四半期連続のプラス成長となり、ブラジル経済が拡大基調にあることを示しました。消費、設備投資ともに堅調で、内需主導の景気拡大が鮮明となりつつあることから、2010年にかけて、ブラジルの景気拡大は継続するものと予想されます。
- 金融政策については、景気の順調な回復を受け、ブラジル中央銀行は金融政策の軸足をインフレ予防的なスタンスへと次第に転換するものと考えられます。
- 金融市場においては、ブラジル中銀は景気への影響を見守りながら、金融引き締めを慎重に進めるものと予想されることから、金利の上昇圧力は緩やかなものにとどまるものと考えられます。また、為替市場では、政策金利の引き上げに伴い、主要先進国との金利差が拡大するため、ブラジルレアルは堅調に推移するものと思われます。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、主に受益証券への投資を通じて、ブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指し、運用に注力していく所存です。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

(上記見通しは2010年3月15日現在のものであり、将来において予告なく変更されることがあります。)

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分 配 落)	税 込	期 中	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
		分 配 金	騰 落 率			
(設定日) 2008年10月31日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 13
1 期 (2009年 3 月13日)	9,553	10	△ 4.4	84.0	—	51
2 期 (2009年 9 月14日)	11,329	10	18.7	95.7	—	422
3 期 (2010年 3 月15日)	11,963	10	5.7	98.1	—	2,414

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注5) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

■過去6ヵ月間の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
(期 首) 2009年 9 月14日	円 11,329	% —	% 95.7	% —
9 月 末	11,556	2.0	96.8	—
10 月 末	12,105	6.8	97.3	—
11 月 末	11,462	1.2	94.3	—
12 月 末	12,176	7.5	94.2	—
2010年 1 月 末	11,102	△2.0	99.0	—
2 月 末	11,369	0.4	99.1	—
(期 末) 2010年 3 月15日	11,973	5.7	98.1	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

■ 1 万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信 託 報 酬 （投 信 会 社） （販 売 会 社） （受 託 銀 行）	94円 (45) (46) (3)
(b) 保 管 費 用 等	201
合 計	295

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信 託 報 酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率

(b) 保 管 費 用 等 = $\frac{\text{期中の保管費用等}}{\text{期中の平均受益権口数}}$

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 保管費用等は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みません。

(注4) 保管費用等には、非居住者のブラジル国内債券投資に係る金融取引税が含まれます。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況（2009年9月15日から2010年3月15日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 2,307,193	千円 2,774,986	千口 693,511	千円 825,510

(注) 単位未満は切捨て。

■ 利害関係人との取引状況等（2009年9月15日から2010年3月15日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

■ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況（2009年9月15日から2010年3月15日まで）

該当事項はありません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2009年9月15日から2010年3月15日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細

親投資信託残高

	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
LM・ブラジル国債マザーファンド	千口 368,894	千口 1,982,576	千円 2,430,440

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2010年3月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
L M・ブラジル国債マザーファンド	2,430,440	100.0
コール・ローン等、その他	19	0.0
投資信託財産総額	2,430,459	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) L M・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(125,504,872千円)の投資信託財産総額(128,112,874千円)に対する比率は98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月15日における邦貨換算レートは1ブラジルレアル=51.47円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 2010年3月15日
(A) 資 産	2,430,459,387円
L M・ブラジル国債マザーファンド(評価額)	2,430,440,179
未 収 入 金	19,208
(B) 負 債	15,499,823
未 払 収 益 分 配 金	2,018,769
未 払 解 約 金	19,208
未 払 信 託 報 酬	13,111,556
そ の 他 未 払 費 用	350,290
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	2,414,959,564
元 本	2,018,769,261
次 期 繰 越 損 益 金	396,190,303
(D) 受 益 権 総 口 数	2,018,769,261口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,963円

<注記事項>

元本の状況

期首元本額

期中追加設定元本額

期中一部解約元本額

372,765,726円

2,350,728,854円

704,725,319円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2009年9月15日 至 2010年3月15日
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	61,924,633円
売 買 損 益	83,757,959
売 買 損 益	△ 21,833,326
(B) 信 託 報 酬 等	△ 13,461,846
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	48,462,787
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	11,096,739
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	338,649,546
(配 当 等 相 当 額)	(144,639,843)
(売 買 損 益 相 当 額)	(194,009,703)
(F) 計 (C+D+E)	398,209,072
(G) 收 益 分 配 金	△ 2,018,769
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	396,190,303
追 加 信 託 差 損 益 金	338,649,546
(配 当 等 相 当 額)	(155,071,776)
(売 買 損 益 相 当 額)	(183,577,770)
分 配 準 備 積 立 金	70,957,811
繰 越 損 益 金	△ 13,417,054

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(61,879,841円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(325,232,492円)および分配準備積立金(11,096,739円)より分配対象収益は398,209,072円(10,000口当たり1,972円)であり、うち2,018,769円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 3 期
1 万口当たりの分配金	10円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と特別分配金に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が特別分配金、残りの部分が普通分配金となります。

◇特別分配金が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

LM・ブラジル国債マザーファンド

運用報告書

第2期 決算日 2010年3月15日

(計算期間：2009年3月14日～2010年3月15日)

－受益者のみなさまへ－

法令・諸規則に基づき、「LM・ブラジル国債マザーファンド」の第2期の運用状況をご報告申し上げます。

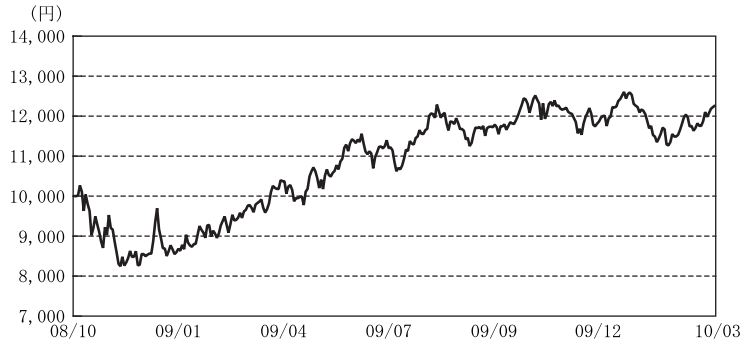
◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建て資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

LM・ブラジル国債マザーファンド 市場総括および運用概況

I. 設定来（2008年10月31日～2010年3月15日）の運用実績

基準価額の推移



パフォーマンス（2010年3月15日現在）

1 カ月	3 カ月	6 カ月	1 年	3 年	設定来
6.70%	2.53%	4.79%	27.47%	—	22.59%

設定日は、2008年10月31日

市場に広く認知されているベンチマークで、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマークと比較しておりません。

上記の図および表は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。

(出所) レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

II. 当期（2009年3月14日～2010年3月15日）の運用経過

- 当期末（2010年3月15日）のLM・ブラジル国債マザーファンド（以下、当ファンド）の基準価額は12,259円となりました。
- 当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス27.47%、基準価額は2,642円上昇しました。
- 当ファンドは、主にブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。
- 期末時点で、当ファンドは短期のブラジル国債を中心に投資を行い、ポートフォリオのデュレーション*を0.97年としました。また、組み入れ債券の内訳は固定利付債券54%、割引債券46%としました。

*デュレーション：金利の変化に対する債券価格の感応度を表す指標。この値が大きいほど、金利の変化に対する債券価格の変動が大きくなります。デュレーションが5年とは、債券利回りが1%動いた際に、債券価格が5%程度動くことを意味します。

こうした運用状況の背景となる市場環境につきまして、以下にご説明させていただきます。

Ⅲ. 市場動向

① 債券市場

- 当期は、米国債券市場において、短期債利回りが若干低下（価格は上昇）する一方、中長期債利回りは上昇（価格は下落）しました。期の前半には、米景気の底入れ期待が高まる中、利回りは上昇しました。期の半ば以降は、景気回復の足取りが鈍い中、超低金利政策の長期化観測が強まったことや、一部の欧州諸国で財政赤字問題が浮上し、安全資産としての米国債需要が高まったことなどから、利回りは短期債を中心に低下傾向で推移しました。期末にかけては米景気回復期待等から、利回りは下げ渋りました。
- こうした環境下、ブラジル債券市場では、利回りが上昇（債券価格は下落）しました。期の前半は、世界的な景気後退（リセッション）によるブラジル経済への悪影響を防ぐため、ブラジル中央銀行が政策金利の引き下げを段階的に実施したことから、国債利回りは低下基調で推移しました。期の後半には、ブラジル経済がリセッションから脱却し、順調に回復したため、利回りは上昇傾向を辿りました。
- 金融政策については、ブラジル中央銀行は2009年4月と6月に、政策金利の各1.00%引き下げを決定し、7月には0.50%の追加利下げを決定しました。この結果、ブラジルの政策金利は期初の11.25%から、当期末には8.75%に引き下げられました。

② 為替市場

- 当期の為替市場では、ブラジルリアル・円相場は上昇しました。期の前半から半ばにかけては、株式相場が世界的に上昇基調で推移する中、投資家のリスク許容度改善の思惑から、リアル高・円安傾向となりました。ブラジルの景気がプラス成長に転じ、ブラジル中銀による利上げ観測が浮上したことなども、リアル買いを促す要因となりました。期の後半には、ブラジル政府による金融取引税の導入や、アラブ首長国連邦（UAE）ドバイ首長国での信用不安の表面化などを受け、リアルは対円で上値の重い展開となりました。ただし、堅調なブラジル景気を背景に、利上げ観測が根強かったため、期初の水準を上回りました。

Ⅳ. 今後の見通しと運用方針

- ブラジル経済については、2009年10-12月期国内総生産（GDP）が前期比2.0%増と、3四半期連続のプラス成長となり、ブラジル経済が拡大基調にあることを示しました。消費、設備投資ともに堅調で、内需主導の景気拡大が鮮明となりつつあることから、2010年にかけて、ブラジルの景気拡大は継続するものと予想されます。
- 金融政策については、景気の順調な回復を受け、ブラジル中央銀行は金融政策の軸足をインフレ予防的なスタンスへと次第に転換するものと考えられます。
- 金融市場においては、ブラジル中銀は景気への影響を見守りながら、金融引き締めを慎重に進めるものと予想されることから、金利の上昇圧力は緩やかなものにとどまるものと考えられます。また、為替市場では、政策金利の引き上げに伴い、主要先進国との金利差が拡大するため、ブラジルリアルは堅調に推移するものと思われれます。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、ブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指し、運用に注力していく所存です。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

（上記見通しは2010年3月15日現在のものであり、将来において予告なく変更されることがあります。）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰	落 率			
(設定日) 2008年10月31日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	百万円 99
1期(2009年3月13日)	9,617	△ 3.8		83.6	—	1,761
2期(2010年3月15日)	12,259	27.5		97.5	—	127,403

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰	落 率			
(期 首) 2009年3月13日	円 9,617	% —	% —	% 83.6	% —	% —
3月末	9,587	△ 0.3		88.5	—	—
4月末	10,109	5.1		95.2	—	—
5月末	10,865	13.0		94.7	—	—
6月末	11,194	16.4		97.0	—	—
7月末	11,650	21.1		99.3	—	—
8月末	11,416	18.7		97.2	—	—
9月末	11,746	22.1		96.8	—	—
10月末	12,319	28.1		97.2	—	—
11月末	11,683	21.5		94.1	—	—
12月末	12,425	29.2		93.9	—	—
2010年1月末	11,349	18.0		98.6	—	—
2月末	11,635	21.0		98.6	—	—
(期 末) 2010年3月15日	12,259	27.5		97.5	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 保 管 費 用 等	311円
合 計	311

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
(a) 保 管 費 用 等 = 期中の保管費用等

(注2) 保管費用等には、非居住者のブラジル国内債券投資に係る金融取引税が含まれます。
(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■期中の売買及び取引の状況(2009年3月14日から2010年3月15日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
外国	ブ ラ ジ ル 国 債 証 券	千ブラジルリアル 2,872,026	千ブラジルリアル 524,749 (18,620)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
(注2) 単位未満は切捨て。
(注3) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■主要な売買銘柄 (2009年3月14日から2010年3月15日まで)
公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N 10% 12/1/1)	40,172,175	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA 10/4/1)	14,067,384
BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA 11/1/1)	30,350,053	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA 10/1/1)	10,462,504
BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA 10/4/1)	22,177,251	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA 09/10/1)	1,035,939
BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N 10% 10/7/1)	16,038,716	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA 09/7/1)	451,903
BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA 10/1/1)	9,085,623		
BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA 10/7/1)	8,443,759		
BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA 10/10/1)	6,300,050		
BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N 10% 13/1/1)	6,031,765		
BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N 10% 14/1/1)	3,380,145		
BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA 09/10/1)	547,956		

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2009年3月14日から2010年3月15日まで)
期中における利害関係人との取引はありません。

■第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況 (2009年3月14日から2010年3月15日まで)
該当事項はありません。

■組入資産の明細 (2010年3月15日現在)

(1) 外国(外貨建)公社債

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ブラジル	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
	2,506,551	2,412,280	124,160,072	97.5	—	—	7.5	89.9
合 計	2,506,551	2,412,280	124,160,072	97.5	—	—	7.5	89.9

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 外国(外貨建)公社債銘柄別

種 類	銘 柄 名	利 率	償還年月日	額 面 金 額	評 価 額	
					外貨建金額	邦貨換算金額
(ブラジル)		%		千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円
国債証券	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	2010/4/1	172,890	172,221	8,864,264
	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	2010/7/1	169,400	165,153	8,500,462
	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	2010/10/1	132,000	125,524	6,460,735
	BRAZIL-LTN(LETRA TESO NA)	—	2011/1/1	689,000	637,135	32,793,383
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	2010/7/1	310,750	311,454	16,030,569
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	2012/1/1	835,380	813,939	41,893,451
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	2013/1/1	124,331	118,682	6,108,576
	BRAZIL-NTN-F(NOTA TESO N)	10.0	2014/1/1	72,800	68,168	3,508,629
合 計	—	—	—	—	—	124,160,072

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

■特定資産の価格等の調査（2009年3月14日から2010年3月15日まで）

該当事項はありません。

■投資信託財産の構成

2010年3月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	124,160,072	96.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,952,802	3.1
投 資 信 託 財 産 総 額	128,112,874	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産（125,504,872千円）の投資信託財産総額（128,112,874千円）に対する比率は98.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月15日における邦貨換算レートは1ブラジルレアル=51.47円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当期末 2010年3月15日
(A) 資 産	128,675,634,306円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,634,064,829
公 社 債(評価額)	124,160,072,854
未 収 入 金	563,253,245
未 収 利 息	1,135,484,517
前 払 費 用	182,758,861
(B) 負 債	1,271,962,655
未 払 金	1,104,510,915
未 払 解 約 金	167,451,740
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	127,403,671,651
元 本	103,929,286,916
次 期 繰 越 損 益 金	23,474,384,735
(D) 受 益 権 総 口 数	103,929,286,916口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	12,259円

<注記事項>

元本の状況

期首元本額 1,831,386,765円

期中追加設定元本額 123,656,068,922円

期中一部解約元本額 21,558,168,771円

期末における元本の内訳

LM・ブラジル国債ファンド（毎月分配型） 101,946,710,703円

LM・ブラジル国債ファンド（年2回決算型） 1,982,576,213円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2009年3月14日 至 2010年3月15日
(A) 配 当 等 収 益	4,955,367,799円
受 取 利 息	4,955,367,799
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	4,254,297,152
売 買 益	4,408,932,962
売 買 損	△ 154,635,810
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,420,549,464
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	7,789,115,487
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 70,056,131
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	19,400,736,200
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 3,645,410,821
(H) 計 (D+E+F+G)	23,474,384,735
次 期 繰 越 損 益 金(H)	23,474,384,735

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。